

関東地方で「風しん」の発生が増えています！

平成30年8月17日

鎌倉保健福祉事務所保健予防課

現在、風しんが関東地方で例年より多く報告され、特に、30代から50代の男性が多くを占めています。帰省や旅行などで移動の多いこのシーズン、風しんの感染にご注意ください。

予防には予防接種が最も有効です。風しんにかかったことがなく、予防接種も受けてない方は、予防接種をご検討ください。

特に、妊娠初期の妊婦が感染すると、出生児に異常が現れる先天性風しん症候群が起こる恐れがあります。妊娠希望の女性やパートナーの抗体検査やワクチン接種の助成制度があります。詳しくは、下記の神奈川県ウェブサイトをご覧ください。

風しんを疑う症状がみられる場合は、事前に医療機関にその旨を電話連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。

風しんとは

風しんは、風しんウイルスの感染により起こる病気です。

症状：主な症状は、発熱、発疹、頸部や耳の後ろのリンパ節腫脹です。

妊娠初期の妊婦が感染すると、先天性風しん症候群（胎児が脳、耳、眼、心臓の異常、精神運動発達遅滞を有する）を発症する恐れがあります。

感染経路：主に、患者の咳、くしゃみに含まれるウイルスを直接吸い込むことや、ウイルスのついた手で口や鼻などを触れることで感染します。

潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）：通常2～3週間

患者からうつる期間：発疹出現7日前から発疹出現14日目頃まで

治療：特効薬はなく、対症療法のみ。

予防方法：ワクチン接種が最も有効です。

登園・登校・出社のめやす：発疹が消失するまで出席停止。



風しんとは（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

神奈川県風しん撲滅作戦 特設ページ（抗体検査、予防接種の助成制度など）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/cnt/f420454/>

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター（感染症情報、発生届の基準・用紙）

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm